

新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

3月の月間 水と衛生月間

本日の例会プログラム 第2185回例会 令和6年3月11日

- ・会員卓話 橋口 徹 会員
- ・会員卓話 村野 裕 会員

出席委員会報告

井野元孝洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(52)55名	メイクアップ数	3名
本日欠席者数	23名	修正出席率	64.81%
本日出席者数	32名	メイクアップされた方(敬称略)	
出席率	61.54%	高坂英文、寺村明之、長澤好太郎	

ニコニコBOX	0件	0円
	累計	190,000円

募金箱	5,070円
	累計 134,588円

会長挨拶

井上竜志会長



みなさん、こんにちは。先週は蓮田RCのほうへ訪問してまいりました。50周年記念事業への参加をお願いしに行っていました。蓮田RCのおもてなしには大変感謝したところです。おなじみの顔ぶれもコロナ禍依頼ですので、久しぶりの再会に感激しておりました。中村PGの場を和ませながらの講演も素晴らしく、みなさん聞き入っていました。

1泊2日のショートトリップでしたが、それぞれ会員のみなさんも楽しめたのではないのでしょうか？反省会を行う予定ですので、ご参加、宜しくお願いします。

さて、3月に入りました。今月は、水と衛生月間となっております。世界では、いまだに安全な水を飲めない国があります。私たちは生まれた時から蛇口をひねれば安心して飲める水がでできます。人間の体は約半分は水分といわれていますので、いかに水が大事なものがわかります。

現代では、ミネラルウォーターとしてペットボトルでも買うことができますが、水のない国では、そのボトルを買うことすらできません。もちろんお金もないでしょうし、売ってるところさえありません。貧しいところでは、昔から水汲みは、女性や子供の仕事となってきました。飲み水も水たまりの水で、汲みに行くのに、往復6時間というところもあるみたいです。

蛇口の水がどこの国が飲めるのかといいますと、世界で12か国しかないみたいです。日本やヨーロッパの国々ほどしかありません。そして、飲めるけれども、おなかを壊すようなところが

32か国ほどあるみたいです。

能登半島地震では、断水になりお風呂もトイレも大変だという報道が流れていましたが、日本ではインフラもしっかりしていて、早く復旧も行われていますので、すぐに飲める水が手元にある状態になっています。

SDGSの目標にも「安全な水とトイレを世界中に」と掲げていますが、私たちにできることを考えていくことも大切です。水を大事に使おうということも大切です。そして、使った水が、循環してまた使えるようにすることもまた、大切なことだと思います。

今日は宜しくお願いします。

幹事報告

村野 裕幹事



①蓮田ロータリークラブ訪問のご報告
当クラブより13名の方にご参加頂き、無事完了いたしました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

また蓮田ロータリークラブよりお土産を頂いております。皆様召し上がってください。

②ロータリー奉仕デーのご案内

本年もロータリー奉仕デーに伴い、「海岸美化活動」のご案内が届いております。

皆様のご参加をお願いいたします。

3/31(日)10:00～

パームビーチホテル付近海岸にて

③国際ロータリー為替レート

1ドル=151円

④「第22回RI台湾囲碁大会」のご案内

上記大会のご案内が届いております。

詳細は事務局までお問合せください。
5/18(土)歓迎晩餐会 5/19(日) 開会式・対局
台湾・桃園市の敏盛智医城（敏盛メディカルセ
ンター）にて

会員卓話

開地俊昭会員



卓話をやれと、プログラム委員長の
方から言われましたのでさせていただ
きます。

私は昭和 41 年の生まれで、今年 58
の年を迎える年になります。私の学歴でいうと。
宮崎市立恒久小学校、宮崎市立大淀中学校、宮
崎県立宮崎南高等学校を卒業後、愛知県の中京
大学をへて、株式会社 寿屋で 4 年勤務したのち、
当時父が経営していたカイチ電設に戻り現在に
至ります。

自己分析して学生時代の話をする、まあ自
分の根っこは最低な人間だなと思うのですが、
小中ぐらいまでは、家では全く勉強をしません
が成績が上位グループで、スポーツは万能、性
格もポジティブで俺は何でもできる子だと心
中では思っている様な子どもでした。

中学生ぐらいまでは優越感を持ってポジテ
ィブに生きてきましたが、さすがに努力をしない
生き方だと高校生ぐらいからぼろが出てきます。
まあ当然そうでしょう、同じような能力を持
った人間ばかりですので、ここからは努力をす
ることによって差が出てきます。1 年生ぐら
いまでは何とかだまされましてやっていけた
のですが、2 年 3 年と上がるにつれ、成績も下
がる一方でした。それまで努力したことがあ
りませんから、当然上位に向けてチャレンジす
るやり方もわかりませんでした。

その状況の中で大学受験がやってくるので
すが今考えるとほんと何も考えてない奴だと思
いますが、一応国立大学志望で、大分大学か
鹿児島大学ぐらいしか狙えないなあと当時は
本気で思っていました。今考えると完全にそ
こまでの能力はなかったのです。で滑り止め
と試験慣れをするという理由で私立を 3 校
うけて、その中で通ったのは最底辺であつた
中京大学でしたので、そこに 4 年間行かせて
いただきました。4 年で卒業できたのが今で
も不思議なのですが、試験以外では学校へ行
くこともない生活でした。がなぜだか、4 年
間で卒業いたしました。

大学生活を終えるにあたって次は就職が待
っています。就職に向けて成績は優良可の可
ばかりです。卒業できたのが不思議なぐら
いですから

ビジター紹介

金丸憲史会員（宮崎西 RC）

親睦委員会

長澤好太郎委員長



井上 年度第 5 回
宮崎南 RC 親睦ゴルフコンペのご案内
日 時：6 月 6 日(土)
場 所：フェニックス CC

懇親会：当日夕方より、懇親会を行います。

表彰なども行います。

恐れ入りますが、3 月 25 日(月)までに
出欠のご回答をお願い致します。

●結婚月

大迫 三郎 会員、小園 隆司 会員、中武 照利 会員
大野 勇 会員、谷口 真樹 会員



●誕生月

日野 郁子 会員、寺村 明之 会員、田中 靖彦 会員
橋口 徹 会員、増田 拓朗 会員、田代 孝尚 会員



●米山奨学金授与式

ロセリン イアオ メイ チン さん



当然そうでしょう。就職試験はまずは寿屋…とんとん拍子で内定まで、次に夏休みに警察、こちらにも制服合わせまでやりました。最後に宮崎銀行…これは就職試験を受けたわけではないのですが、面接だけあり、そこで面接官の方にどこか内定貰っていますかの質問に答えたのですが、あなたは警察官より、寿屋の方が向いていると思いますよと言われましたが、うちの会社にはいませんという上手な伝え方だと今でも感心しています。まあ4年間務めて、そこそこ数字も残せたのですが、いかんせん給料が安くて、残業もつきませんから父の甘い言葉にそれまで拒否してきた会社に入ることになります。「それは知ってましたよ、うちの会社は毎日残業で、土曜も日曜も仕事」だというのは、数か月間一度も休みなしとか当たり前のようにあるとか、今でも残業の多いブラック企業ですが当時はそんなものではありませんでした。無資格で帰ってきましたので、電気工事士や施工管理、など必要な資格もその間に取るという生活でしたが、ここでまた大きな転機を迎えますそれは宮崎銀行さんが若手経営者や後継者を集めて勉強会をやるので参加しませんかのお誘いでした。正直よくわかりませんでした。宮崎銀行さんから仕事をいただいていたので、営業のつもりで参加しておくかぐらいの感覚です。そこに参加してカルチャーショックの連続です。

ここにその時のメンバーが3人います。小園会員、田口会員、大浦会員でほかの方はロータリーには所属しておりませんがほぼ諸先輩ばかりです。当時の話ですから笑って許していただきたいのですが、何この偉いのか、偉そうなだけなのかわからないが、あくの強い人たちは？というのが感想です。自分の中で常識人と思えたのは大浦会員などの少数の方だけでした。こんな世界で経営者として会社を運営していくにはあくの強い人たちと付き合えるだけのものがないとやっていけないと、痛感した次第です。その時この人たちが語っていた話が、JC(青年会議所)、YEG(商工会議所青年部)の2団体です。そういう団体に入っていないと会話もできないなと感じさせられた瞬間でした。ただ当時の自分は視野も狭いし、物事を斜めから見ておりますので、同業者の先輩からのお誘いなど、なんで同業者の紹介で入らないといけない！俺はあんたの子分でもない！という生意気な気持ちで入会を一度お断りします。そこで次

は他の人を交えて勧誘をいただきました。

そこでこのロータリーなどを含めた団体への入会を考える一助となった言葉を受けます。基本は年齢制限がある団体向けの言葉ですが「後輩はどんな時でも知りあうことができるし、仲良くなることもできるが、先輩は今でしか知りあえない人がいる」という言葉です。

これは結構響いておりまして今でもたまにその言葉を思い出し、先輩の方と絆を深めたいと行動しているつもりです。また、どはまりしたJCでしたが…元々が楽な方に流れやすい性格で、努力があまり好きではありませんので、出席率が足りないなど諸問題が発生します。そこで言われたお叱りの言葉が

「開地君、君は出席が1回足りない…1回ぐらいは何とか出席できたのでは…君はこの1回が大したことではないと思ってるかもしれないが、この1回で仕事の受注をのがしたのと一緒だよ」という言葉です。出席率とかは今でも褒められたものではありませんし、よくポカもしますが、今でも最後のひと踏ん張りするときはこの1回の出席を違う言葉に置き換えて活用しています

JCをやり、YEGも少しだけやり、法人会青年部と年齢制限のある団体で少しずつ経験を積みながら今ロータリーに所属させていただいております。元々の性格の悪さで毒を吐くことも多いし、一言余計なことも言うかもしれませんが、できればこれでもまともになってきたんだと、皆様方の広い気持ちで自分を受け入れていただければと思います。これからもよろしくお願いします。

ロータリー情報委員会

杉本英一委員長



ロータリー情報委員会の杉本です。毎月第1月曜のロータリー情報委員会の卓話の時間ですが、今月から私が担当することになりました。宜しくお願いします。昨年度のロータリー情報委員会で作成いただいた「ロータリー用語集」を教材として卓話を進めていきたいと思いますが、教材について予告していませんでしたので今月は「ロータリーの友」の記事についてご紹介する形で卓話とさせていただきます。

ロータリーの友の9ページから、富岡RCの藤田大さんという方の記事が掲載されています。福島県富岡町は、2011年3月11日の東日本大震災

で甚大な被害を受け、さらに東京電力の福島第一原子力発電所の事故により全町民が避難、その後も居住することが困難な状況が長く続いた地域になります。

元々富岡町で食堂を経営していたお父様が1969年から建設が始まった福島第一原子力発電所の社員食堂を始めることになり、原発の増設・発展と共に事業も拡大されていきました。ところが、1990年代後半になると業績が悪化し、98年から兄と二人で事業を引き継ぎ、経営改革を行った結果、業績も改善され、新社屋建設地で地鎮祭を行った2日後に東日本大震災に見舞われました。今回の記事では、震災の恐怖、被災した故郷の再建を目指す中での苦悩や葛藤がご本人の言葉で紹介されており、読んでいて胸に

迫るものがありました。このような状況に置かれながら、藤田さんは2015年に富岡RCに入会され昨年度は会長を務められました。会長任期中には新規会員を14名増員しており、ロータリー活動に向ける思いの強さを感じさせられました。

私たちが住まう宮崎という地域も常に南海トラフ大地震のリスクを抱えています。能登半島地震、3月に入ってからは東日本大震災など、地震に関するニュース、記事を目にすることが多くあります。その度に自身が被災した場合どのような行動をするべきか考えさせられます。考えたところで、決して答えの出るものではないですが、考えておくことが困難に直面した際の第一歩につながるのではないかと思います。

2月28日～29日 蓮田ロータリークラブ訪問



● 宮崎南ロータリークラブ ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30～13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212